

KORIYAMA SHINKIN REPORT

まごころバンクレポート 2021.9

令和3年度上半期ディスクロージャー誌

●令和3年4月1日～令和3年9月30日●

令和3年度上半期業績●社会貢献活動●TOPICS



『布引風の高原』



あなたのあしたに…まごころバンク

郡山信用金庫

理事長あいさつ



皆様には平素より、郡山信用金庫をご愛顧賜りまして、心から御礼申し上げます。
令和3年度も半期が経過し、6カ月間の事業内容、業績等をまとめたミニディスクロージャー誌「まごころバンクレポート2021.9」を刊行いたしましたので、ご覧いただければ幸いです。

さて、我が国経済は、海外経済の回復に伴う輸出の増加を背景に、生産、設備投資は景況感が改善する一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響から対面型のサービス業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあり、業種間での格差が広がっています。また、大きな経済効果が期待された東京五輪は1年遅れで開催されたものの、外国人の入国規制や無観客開催により限定的なものとなりました。

個人消費は、活動制限の緩和と強化が繰り返されるなか、感染者の急拡大により8月上旬から9月上旬にかけて緊急事態宣言が延長され、その対象地域も拡大されたことから大きく低迷しました。

足許では、新型コロナワクチン接種が進展しており、9月末には国民の約6割が2回接種を完了。こうしたなか、新型コロナウイルス第5波の流行により発出された緊急事態宣言が解除され、政府は、活動制限の緩和を本格化させる事を方針としており、消費回復による今後の景況感に明るい兆しが見えつつあります。

県内経済においても新型コロナウイルス感染症の影響により、国内経済同様に鈍化しており、依然として厳しい状況が続いておりますが、活動制限の緩和により、抑えられていた消費行動が、国内旅行や外食などの消費へ向けられる、いわゆるリベンジ消費に繋がり県内経済も活発化するものと期待されています。

当金庫の令和3年度の中間期業績におきましては、預金は個人預金、法人預金、公金預金の増加により前期末比86億11百万円増加し2,297億75百万円となりました。貸出金は、卸・小売業、サービス業及び建設業などの業種で残高が増加となり、前期末比17億51百万円増加し1,046億57百万円となりました。損益面では資金運用収益及び役務取引等収益の増加により、当期利益は前年同月比1億5百万円増加し3億円となりました。

新型コロナウイルス感染症により多くの皆様が大きな環境変化への対応を余儀なくされております。当金庫は、「共生 そして未来への挑戦」という当金庫の基本理念に基づき、地域の皆さまに寄り添い、再び笑顔の溢れる日常を取り戻せるよう、役職員一丸となって、地域の発展に貢献してまいります。

皆さまには、引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年11月

理事長 有馬 賢一

ぐんしんについて

基本理念

共生 そして未来への挑戦

経営理念

- ぐんしんは地域の発展に貢献します
- ぐんしんはお客様との信頼を大切にします
- ぐんしんは働きがいのある職場をつくります
- ぐんしんは健全経営に努めます

■当金庫の概要(令和3年9月30日現在)

名称	郡山信用金庫
主な業務	預金・定期積金の受入 貸付・手形割引 為替取引 その他の付随業務
理事長	有馬 賢一
本店	福島県郡山市清水台二丁目13番26号 TEL 024(932)2222(代) FAX 024(923)3955 URL https://gunshin.co.jp/
創立	大正13年3月8日
出資金	1,338百万円
会員数	23,882人
預金積金	229,775百万円
貸出金	104,657百万円
役職員	199名
店舗数	19店舗
営業地区一覧	郡山市 須賀川市 二本松市 田村市 本宮市 安達郡一円 田村郡一円 岩瀬郡一円 石川郡のうち平田村、 玉川村、石川町、いわき市のうち 川前町、三和町(ただし、三和町のうち 上三坂、中三坂、下三坂に限る。) 双葉郡のうち川内村、葛尾村



Next100th ステージ2

ぐんしん『支援力の強化と変革への挑戦』3カ年計画 ～課題解決による地域経済の力強い回復を目指して～

当金庫は、令和5年度(令和6年3月8日)に創立100周年を迎えます。

中期3カ年経営計画は、創立100周年に向け、信用金庫本来の姿であるお客様とのリレーションシップにより、お客様、地域が抱える課題の解決に尽力し、地域経済の活性化と豊かな地域社会への貢献を通して信頼される金融機関を目指すというテーマです。

基本理念 共生 そして未来への挑戦

経営理念

ぐんしんは地域の発展に貢献します

ぐんしんはお客様との信頼を大切にします

ぐんしんは働きがいのある職場をつくります

ぐんしんは健全経営に努めます

中期3カ年経営計画 (令和3年4月～令和6年3月)

重点施策

- 1. 財務基盤の管理・強化(収益力・健全性)**
① 収益管理の徹底 ② 収益力の強化 ③ 健全性の管理強化 ④ 生産性・効率性の向上
- 2. 顧客基盤の拡大**
① 顧客支援力の強化 ② 営業力の強化 ③ 地域経済活性化への貢献
- 3. 人材の育成**
① 職員のスキル強化 ② 働きがいのある職場づくり ③ 組織力の強化
- 4. 法令等の遵守**
① コンプライアンスの遵守

主要 計画 計数

規模

- 貸出金平残
108,795百万円

収益性

- コア業務純益
247百万円
- コア業務純益(投信解約益除く)
197百万円

健全性

- 自己資本比率
12.00%以上
- 不良債権比率
2.39%以下(金融再生法)

地域貢献

地域社会の再生・活性化をめざして

一地域と運命共同体であるぐんしんはふれあいを大切に、地域発展に努めています

地元への貢献、地域の活性化を進めることがぐんしんの使命です



<なりすまし詐欺被害の防止への取組みについて>

当金庫はなりすまし詐欺の被害を未然に防止するため「ぐんしんなりすまし詐欺防止コールセンター」の設置や、警察による講習会の受講、アドバイザーの任命、「なりすまし詐欺被害未然防止川柳」チラシを窓口のほか渉外訪問先のお客さまにも配布し、注意喚起を行うなど詐欺被害防止に積極的に取組んでおります。

なりすまし詐欺被害
未然防止運動推進中!

子や孫の名前言わずに 名前聞け

電話でのお金の相談 それは詐欺

もう一度 家族に連絡 再確認

緊急のメール連絡 不審だよ

当金庫では、お客様の大切な財産を守るため、詐欺被害を未然に防止する取組みを強化しております。

キャッシュカード詐欺盗に注意!!

キャッシュカード **渡さない!**
暗証番号 **教えない!**

※警察官や金融機関職員が個別に訪問してカードや通帳を預かることは絶対ありません!!

郡山信用金庫

特に被害の多い高齢者に対しては、払い戻しの際や公的年金支給日に声掛けを行い、詐欺の被害に遭わないように注意を呼び掛けております。

その成果として、なりすまし詐欺被害を未然に防止することができ、郡山警察署より感謝状をいただきました。今後も、地域金融機関として、なりすまし詐欺被害防止においても地域社会のお役に立ち続ける金融機関を目指して参ります。



主なトピックス

令和3年4月 1日 ●令和3年度辞令交付式並びに新入職員入庫式

令和3年6月15日 ●県内信用金庫が一斉に実施するクリーン作戦／職員151名参加

令和3年6月16日 ●第98期通常総代会

令和3年9月13日 ●開成山支店を並木支店内へ移転

4月



新入職員入庫式

6月



クリーン作戦

6月



第98期通常総代会



9月



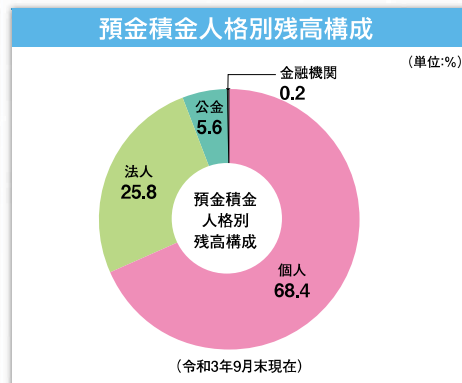
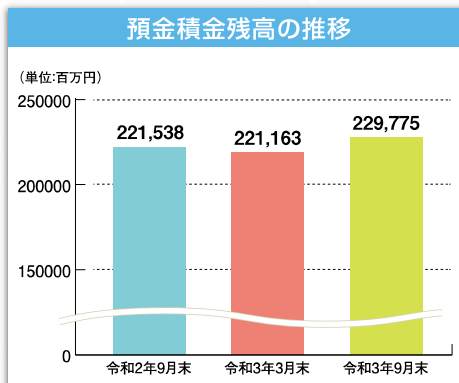
開成山支店を並木支店内へ移転

令和3年度上半期業績のご報告について

預金積金の状況

預金積金は86億円の増加となりました。

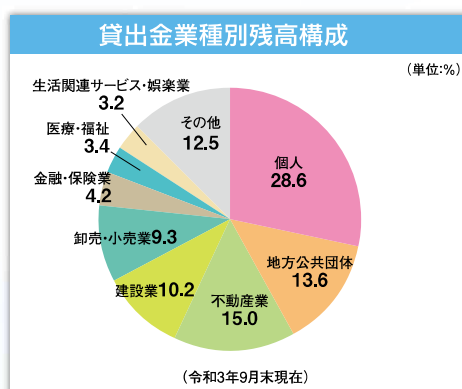
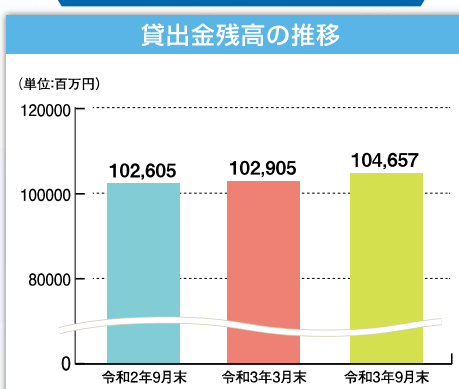
預金積金残高は、個人・法人・公金預金の増加により、前期末比86億11百万円増加し2,297億75百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金は17億円の増加となりました。

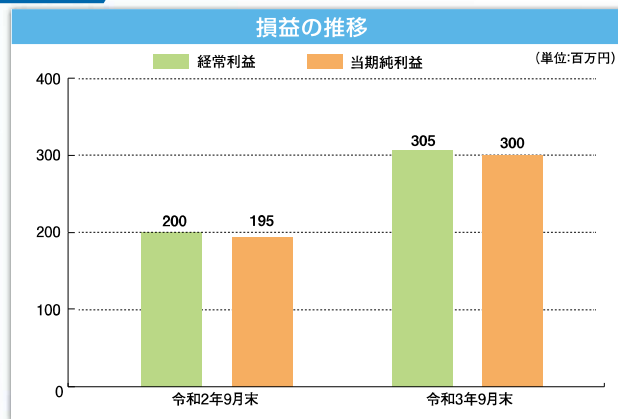
貸出金は、サービス業及び建設業、卸売・小売業向け貸出等の増加により、前期末比17億51百万円増加し、1,046億57百万円となりました。



損益の状況

当期純利益は3億円となりました。

資金運用環境は、マイナス金利政策の長期化や他行競合、世界経済の停滞等、依然として厳しい環境にあります。新型コロナウイルスに対するワクチン接種の進展等により経済の回復期待も徐々に高まりつつあります。資金運用収益の増加や信用コストの減少等により、当期純利益は前年同月比1億5百万円増加し3億円となりました。



主要な業務の状況を示す指標

(単位:百万円)

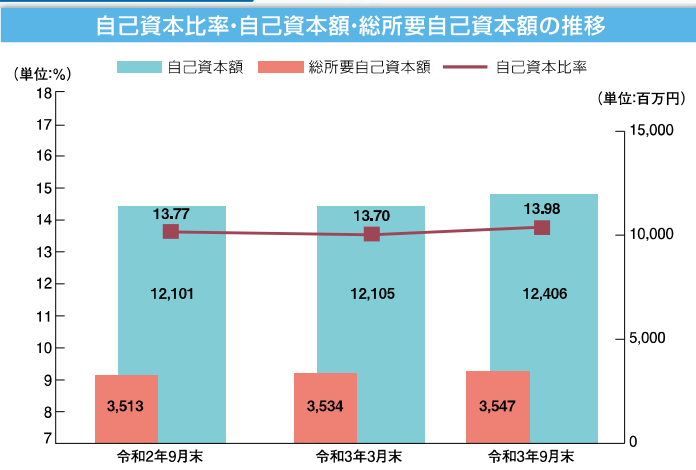
	令和2年9月末	令和3年9月末
業務純益	105	248
実質業務純益	105	248
コア業務純益	105	248
コア業務純益(投信解約損益を除く)	50	142

自己資本充実の状況

自己資本額増加し、経営体力はさらに強化されました。

自己資本額は、前期末比3億円増加し124億6百万円となりました。自己資本額は出資金や利益剰余金等で構成されており、自己資本額の内容も十分です。

自己資本比率は、13.98%で国内金融機関の自己資本比率基準の4%を大幅に上回っております。



自己資本の充実度の状況

項目	令和2年9月末	令和3年3月末	令和3年9月末	(単位:百万円・%)
自己資本額(A)	12,101	12,105	12,406	
①コア資本に係る基礎項目の額	12,128	12,150	12,448	
②コア資本に係る調整項目の額	△ 27	△ 45	△ 42	
リスク・アセット等(B)	87,828	88,352	88,683	
③信用リスク・アセット	83,727	84,162	84,494	
④オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	4,100	4,189	4,189	
自己資本比率 = $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	13.77	13.70	13.98	
単体総所要自己資本額 = (B) × 4%	3,513	3,534	3,547	
⑤信用リスク・アセット = ③ × 4%	3,349	3,366	3,379	
⑥オペレーショナル・リスク = ④ × 4%	164	167	167	

1. 総所要自己資本額=リスク・アセット×4%
2. オペレーショナル・リスクは、当金庫は基礎的手法を採用しております。

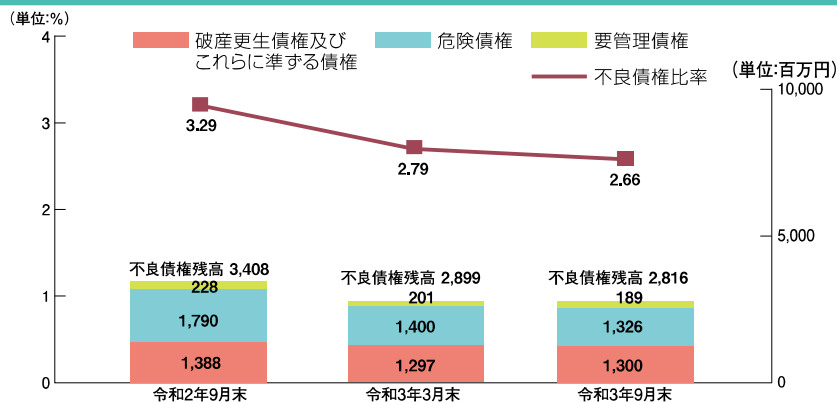
(注)自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

金融再生法による資産査定状況

不良債権比率は0.13ポイント低下(改善)いたしました。

当金庫はお取引先の経営改善支援に積極的に取り組んでおります。不良債権比率及び不良債権残高ともに前期末を下回(改善)っており、資産の健全化が強化されております。

不良債権比率・不良債権残高の推移



有価証券の時価情報

有価証券評価益は8億9百万円を計上しております。

当金庫は債券を中心に有価証券運用を行っております。新型コロナウイルス感染症による市場混乱が落ち着きを見せたことから、有価証券の評価損益は改善し、令和3年9月末の有価証券評価益は8億9百万円となりました。

満期保有目的の債券

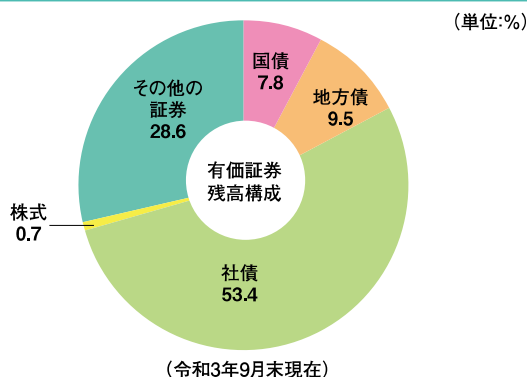
	種類	令和3年3月末			令和3年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	債券	582	615	33	573	608	35
	その他	—	—	—	—	—	—
	小計	582	615	33	573	608	35
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	債券	444	442	△1	429	429	△0
	その他	—	—	—	—	—	—
	小計	444	442	△1	429	429	△0
合計		1,026	1,058	31	1,002	1,037	34

- (注)1. 時価は、末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「債券」は、国債、地方債、短期社債及び社債です。
 3. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 4. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

売買目的有価証券

該当するものはございません。

有価証券残高構成



その他有価証券

	種類	令和3年3月末			令和3年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	241	215	26	239	209	30
	債券	32,517	31,987	529	39,675	39,049	625
	その他	11,070	10,591	479	12,196	11,703	492
小計		43,829	42,794	1,035	52,111	50,962	1,148
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	255	297	△42	194	246	△52
	債券	12,614	12,745	△130	6,584	6,637	△53
	その他	6,247	6,500	△252	6,931	7,200	△268
小計		19,117	19,543	△425	13,709	14,084	△374
合計		62,946	62,337	609	65,821	65,046	774

- (注)1. 貸借対照表計上額は、末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「債券」は、国債、地方債、短期社債及び社債です。
 3. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 4. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

新型コロナウイルスに関する取組み



郡山信用金庫は、お客さまが安心・安全にご利用して頂けるよう、徹底したコロナ対策を実施し、営業をしております。



出勤前に自宅での検温、入店時の検温を実施し、職員の体調管理を徹底しております。



お客さまが使用される記帳台、窓口カウンター、筆記用具等やATMの消毒作業を定期的に行っております。



職員は、手洗いうがいの徹底、マスク着用、窓口カウンターにはパーティションを設置し飛沫感染防止に努めております。その他、各所に消毒液の設置、お客さまが使用する椅子はソーシャルディスタンスを保つ等、様々な対策を行っております。



新型コロナウイルス感染症に対する 緊急経営相談窓口



全営業店に相談窓口を設置しております。

新型コロナウイルス感染症対策資金や各種ローンについて、お気軽にお問合せください。お客さまに寄り添ったご提案をさせていただきます。まずは、お近くの営業店まで、ご相談ください。

お客さまからのご意見・苦情・相談・要望等の受付窓口

リスク統括部(平日 9:00~17:00)
TEL.024-932-2227 FAX.024-923-3955

貸付条件の変更等に関する要望・相談・苦情等窓口

審査管理部審査課(平日 9:00~17:00)
TEL.024-932-2225 FAX.024-923-3955

福島県内8信用金庫のATMご利用手数料が

365日 終日無料

- 対象カード
福島県内8信用金庫が発行するすべてのカード
 - 対象ATM
福島県内8信用金庫が設置する店舗内・店舗外ATM
 - ご利用内容
お預入れ・お引出し
- (注)共同ATM等の一部対象外がございます。

当金庫は「でんさいネット」参加金融機関です

ご利用、ご相談は窓口・営業担当へお申し付けください。



全国銀行協会の電子債権記録機関

郡山市

田村市・田村郡

■本店営業部 ☎024-932-2230	■熱海支店 ☎024-984-2280	■東支店 ☎024-944-7761	■開成山支店 ☎024-922-8315	■安積支店 ☎024-945-3040	■三春支店 ☎0247-62-2105	■川内支店 ☎0247-61-6188
■卸町支店 ☎024-959-6550	■菜根支店 ☎024-922-7222	■希望ヶ丘支店 ☎024-952-2411	■富久山支店 ☎024-932-2600	■大槻支店 ☎024-952-3010	■小野町支店 ☎0247-72-3115	■船引支店 ☎0247-82-1160
■久留米支店 ☎024-945-6701	■並木支店 ☎024-938-7110	■台新支店 ☎024-934-1136	■金屋支店 ☎024-942-6760	■八山田支店 ☎024-934-0411		

店舗のご案内



あなたのあしたに…まごころバンク
郡山信用金庫

〒963-8630 福島県郡山市清水台二丁目13番26号
Telephone 024-932-2222(代表)
Facsimile 024-923-3955
<https://gunshin.co.jp/>

(令和3年11月1日現在)